



先物取引に係る雑所得等の金額の計算明細書

この明細書は、先物取引に係る事業所得や譲渡所得、雑所得について確定申告をする場合に使用します。なお、これらのうち2以上の所得があるときは、所得の区分ごとにこの明細書を作成します。詳しくは、『先物取引に係る雑所得等の説明書』を参照してください。

(            年分 )

いずれか当てはまるものを○で囲んでください。

→ { 事業所得用  
譲渡所得用  
雑所得用 }

氏 名 \_\_\_\_\_

		①	②	③	合 計 (①から③までの計)
取引の内容	種 類				
	決 済 年 月 日	・    ・	・    ・	・    ・	
	数 量	枚	枚	枚	
	決 済 の 方 法				
総収入金額	差金等決済に係る利益又は損失の額	①			
	譲渡による収入金額(※)	②			
	その他の収入	③			
	計 (①+③)又は(②+③)	④			
必要経費等	手数料等	⑤			
	②に係る取得費	⑥			
	その他の経費	⑦			
		⑧			
		⑨			
	小計 (⑦から⑨までの計)	⑩			
計 (⑤+⑩)又は(⑤+⑥+⑩)	⑪				
所得金額 (④-⑪)		⑫			

申告書第三表(分離課税用)は「収入金額」欄の①(申告書第四表(損失申告用)は「1損失額又は所得金額」欄のFの(A収入金額)に転記してください。

黒字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の⑦(申告書第四表(損失申告用)は「1損失額又は所得金額」欄のFの⑦)にそのまま転記し、赤字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の⑦(申告書第四表(損失申告用)は「1損失額又は所得金額」欄のFの⑦)に「0」と書いてください。

(※)カバードワラント(金融商品取引法第2条第1項第19号に掲げる有価証券で一定のものをいいます。)の譲渡による譲渡所得についてその譲渡による収入金額を記載してください。

◎ ①、④及び⑫欄は金額が赤字のときは、赤書き(△印)してください。

◎ ①から③の各欄は、差金等決済又は譲渡ごとに記載してください。

◎ ⑦本年の⑫欄の合計額が赤字のときにその赤字を翌年以降に繰り越す場合や、④本年の⑫欄の合計額が黒字のときに前年から繰り越された赤字を本年の黒字から差し引くときには、『\_\_\_\_年分の所得税及び復興特別所得税の\_\_\_\_申告書付表(先物取引に係る繰越損失用)』も併せて作成してください。

○この明細書は、申告書と一緒に提出してください。